

# 一学期の振り返り

今年度、本校は開校 11 年目を迎え、これまで築き上げてきた実績を基に、「Connect：つなぐ・つながる」をスローガンとして、教育活動を展開しています。近隣の皆様との連携（情報交換）から気付かされた課題解決や、より良い環境の中で水泳学習を行うために、地域の企業と連携した施設の改善等を進めてきました。

## ①近隣住民との連携

### 【農園】



作業学習で活用している農園ですが、コロナ禍で活動が縮小していた中、雑草が繁ってしまう状況にありました。そこを地域の企業の方が声を挙げてくださり、整備してくださいました。教員も、分担して整備にあたり、地域の方々と連携して自分たちの教育活動の場を整備することができました。近隣の皆様から喜びの声をいただきました。

### 【S 棟プール】



S 棟のプールに、日除けのネットを貼っていただく作業も地域の企業の方にさせていただきました。また、スポットクーラーを提供していただき、児童・生徒の待機場所及び監視台の教員の暑さ対策に活用しています。

熱中症対策をとることができ、安全な環境で水泳指導を実施することができました。

## ②進路に関する連携

### 【白鷺特別支援学校との連携作業学習

#### 「清掃」】



### 【水元小合学園の進路説明会への参加】



進路指導の一貫として通学区域内の学校と連携をとって教育活動を進めています。

N 部門中学部 3 年生が、本校卒業後の通学区域校である白鷺特別支援学校清掃班に出前授業に来ていただき、キャリア教育の一貫として、ダスタークロスの使い方を教わる活動を実施しました。同じく S 部門の通学区域校である水元小合学園の進路説明会に本校の保護者が参加しました。

### ③大学との連携



東京未来大学及び東京電機大学と連携しています。医療的ケアや自立活動について知ってもらうと同時に、理工系の研究と連携し、デジタル教材の開発に連携して取り組んでいます。



### ④外部支援

本校は、センター的機能の役割として、近隣の小中学校へ行き、コーディネーターが巡回指導や研修会を実施しています。特別な支援を要する児童・生徒が地域で豊かに暮らせるよう特別支援の知識・ノウハウを共有し、「誰も取り残さず、全ての子供たちの可能性を引き出す学び」を地域全体で支えていきます。1学期間の相談等件数を右記の表に示しております。

主な支援先

令和6年7月19日 現在

	団体	日時	参加者数
1	第三葛西中学校	4月26日	20名
2	コーディネーター研修	5月10日	100名
3	小学校教育研究会特別支援教育部	6月12日	100名
4	特別支援教育推進研修	6月24日	40名
5	小松川第二中学校	6月26日	30名
6	江戸川区校長会	7月11日	60名
			計 390名

この他、巡回相談・ケース会 7件